

科目名	情報処理Ⅱ Information ProcessingⅡ			担当教員	糸川一也			
学 年	3 年	学 期	通年	履修条件	必修	単位数	2	
分 野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	14235008	単位区別	履修	
学習目標	C 言語の文法と C 言語によるプログラミングを学習し，プログラミングの基礎能力を養成する。標準規格 (C89) の範囲での C 言語によるプログラミングができることを目標とする。							
進め方	教科書に沿って進める。学習項目を解説した後，教科書の本文中および演習問題のプログラムを作成する演習を実施する。プログラムの入力，コンパイル，動作確認の作業を各自が行う。演習問題を解くことによりプログラミング能力を次第に養成してゆく。							
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標				
	1. パスワード変更，Emacs の使い方(2) 2. Linux コマンド(2) 3. 変数と算術式(2) 4. for 文，記号定数(2) 5. 文字入出力(2) 6. 配列 (2) 7. 関数，文字配列，外部変数と通用範囲(2)			ファイルの作成ができる。 D2:2 C 言語の基本的な文法を知る。 D2:1 プログラミング言語を用いて基本的なプログラミング ができる。 D2:2				
	[前期中間試験](1)							
	8. 試験問題の解答(1) 9. 変数名，データ型，定数，宣言(3) 10. 演算子(2) 11. 代入演算子と式，条件式(2) 12. if-Else 文，else-if 文，switch 文(2) 13. while 文(2) 14. do-while 文(2)			C 言語の文法の詳細を知る。 D2:1 変数とデータ型の概念を説明できる。 代入や演算子の概念を理解し、式を記述できる。 制御構造の概念を理解し、条件分岐や反復処理を記述 できる。				
	前期末試験							
	15. 試験問題の解答(1) 16. 関数 (3) 17. 外部変数 (2) 18. 通用範囲(2) 19. 静的変数(2) 20. ブロック構造と初期化(2) 21. 再帰(2)			関数の作成と利用ができる。 D2:2 再帰について理解し，プログラムを作成できる。 D2:2 プロシージャ（または、関数、サブルーチンなど）の 概念を理解し、これらを含むプログラムを記述でき る。 D2:2				
	[後期中間試験](1)							
	22. 試験問題の解答 (1) 23. ポインタと配列(3) 24. ポインタ配列(2) 25. コマンド行の引数(2) 26. 構造体と関数(2) 27. 構造体へのポインタ(2) 28. 標準入出力(2) 29. ファイルアクセス(2)			ポインタを利用できる。 D2:2 配列を利用できる。 D2:2 構造体を利用できる。 D2:2 ファイルの読み書きができる。 D2:2 基本的なアルゴリズムを理解し，図式表現できる。 D2:2 与えられた簡単な問題に対して，それを解決するため のソースプログラムを記述できる。 D2:2				
	後期末試験							
	30. 答案返却・解答(2)							
	評価方法	定期試験を 80%，演習を 20% の比率で評価する。						
	履修要件	特になし。						
	関連科目	情報処理Ⅰ（2 年）→ 情報処理Ⅱ（3 年）→ 情報処理Ⅲ（4 年）→ ネットワークプログラミング（5 年）						
教 材	教科書：B.W.カーニハン，D.M.リッチー 著 石田晴久 訳 「プログラミング言語C 第2 版」 共立出版 プリント							
備 考	オフィスアワー：毎週火曜日 15:30～16:30							